

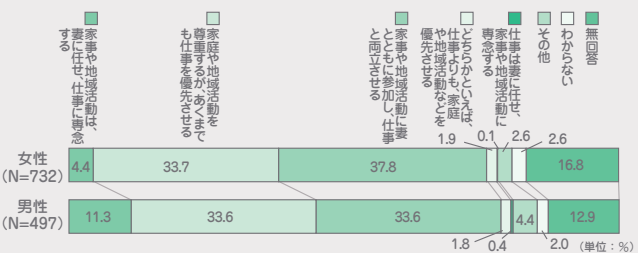
D 男性の生き方

① 仕事と家庭や地域活動

男性も「仕事」と「家庭や地域活動」の両立を

男性の望ましい生き方として「仕事に専念する」と考えるのは、男性では約1割、女性ではごく少数です。男女とも、男性の家庭や地域活動への参加に関して、「尊重するが、あくまでも仕事を優先させる」と「妻とともに参加し、仕事と両立させる」のが望ましいと考えている割合はほぼ同じです。男性も、仕事だけではなく、家事をしたり地域活動に参加したりすることにより、より豊かな生活を実現することが求められています。

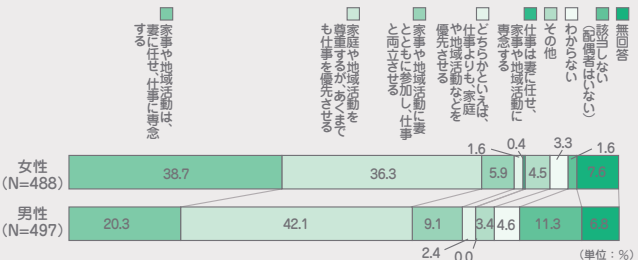
■「仕事」と「家庭や地域活動」について、あなたが「男性の生き方」として望ましいと思うのは、次のうちどれですか。



実際の生き方は、仕事に専念、あるいは仕事を優先

望ましい男性の生き方とは異なり、実際の男性の生き方は、家庭や地域活動への参加に関して「仕事に専念する」「あくまでも仕事を優先させる」が多くなっており、「妻とともに参加し、仕事と両立させる」は少数です。家事や地域活動に関わりたくても、仕事が忙しくて関われないという現状があるようです。

■「仕事」と「家庭や地域活動」について、あなた（男性）は現実にはどのような「生き方」をしていますか。（女性の方は、あなたの配偶者について、お答えください。）



② 男性が家事、育児、介護、地域活動などに積極的に参加するために

「男性が家事、育児、介護、地域活動などに参加」するためには、家事の分担について十分話し合うことが大切

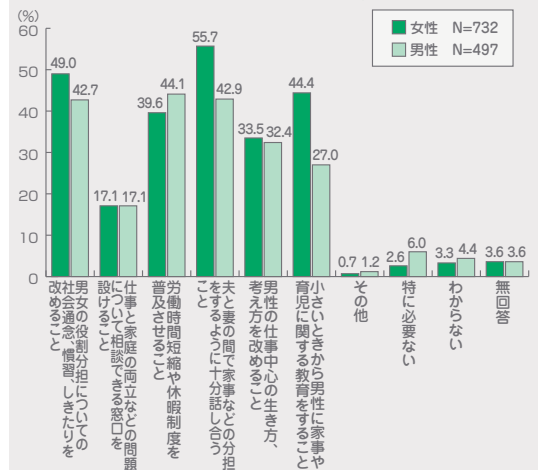
男性は「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」「夫と妻の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」がほぼ同じ程度必要だと考えています。

女性は「夫と妻の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」が必要という意見が最も多く、ついで、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」となっています。

労働時間や休暇の取り方などの男性の働き方を見直し、家事や地域活動に積極的に関わられるような環境づくりとともに、家事の分担等についての男性の理解、意識改革が大切です。

また、女性は「小さいときから男性に家事や育児に関する教育をすること」が必要という意見が男性より17.4ポイント多くなっています。男性に対する家事・育児に関する教育だけではなく、絵本や教科書に描かれる固定的な女性像・男性像や、教育行事における男女の役割などについても見直す必要があると思われます。

■今後、男性が家事、育児、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。



③ 仕事のストレス

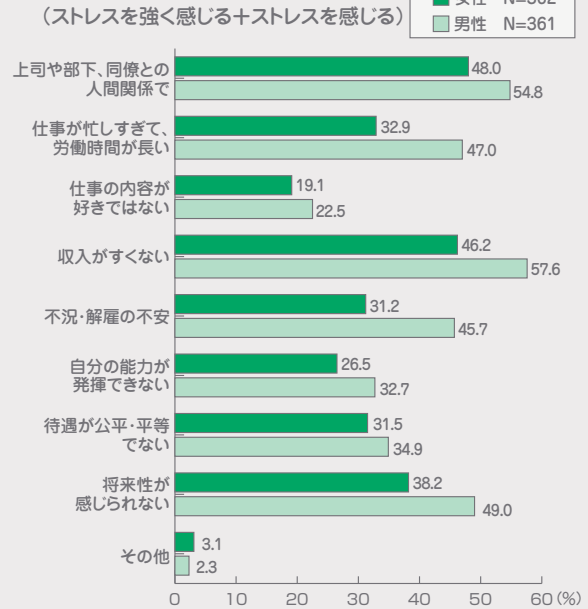
仕事上では、男性の方がストレスを感じている

男性が最も多くストレスを感じるのは「収入がすくない」こととなっています。ついで、「人間関係」「将来性が感じられない」ことにストレスを感じる割合が高くなっています。女性が最も多くストレスを感じるのは「人間関係」となっています。

どの項目も男性の方がストレスを感じる割合が高くなっており、男性は、仕事を家庭や地域社会より優先する結果、仕事におけるストレスも高くなっていると思われます。

男女ともに、仕事と家庭や地域社会とのバランスをとることが必要です。

■ あなたは仕事に関して、どのようなことでストレス（不安や悩み）を感じていますか。（現在、働いている方に）



④ 仕事以外のストレス

仕事以外では、老後の生活についてのストレスが高い

女性も男性もそれぞれ約6割が「老後の生活（経済や健康）について」ストレスを感じています。安心して老後の生活を送るためには、経済的、健康的な安心の他に、生きがいを持つことも大切です。制度やサービスの充実はもちろんですが、自身の生き方を含めて、老後の生活設計を考えることも必要ではないでしょうか。

その他「配偶者や恋人のこと」「子どものこと」「家事の負担」「親の介護や病気」にストレスを感じているのは、いずれも女性の方が多くなっています。男性が仕事におけるストレスを女性よりも多く感じているのに対して、女性は男性よりも配偶者や恋人、子どものことや家事・育児・介護にストレスを感じる傾向があります。その背景には「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担意識があると思われます。女性も男性も自分らしく生きることを大切にしたいものです。

■ あなたは仕事以外のことに、どのようなことにストレス（悩みや不安）を感じていますか。

